

地域密着型金融の推進に関する取組み

1. 地域密着型金融の推進に関する取組み方針

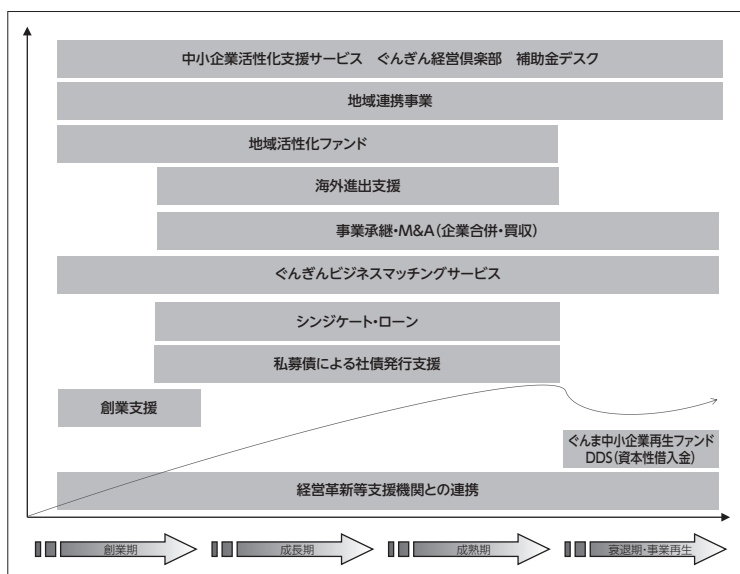
- 経営方針ともいべき「企業理念」において、「地域社会の発展を常に考え行動すること」、「お客さまとの創造的な関係を深めること」等を掲げ、地域社会の一員としての自覚と責任を持ち、金融サービスの向上と自らの経営力の強化を図ることにより、地域経済の発展に貢献し、さらには地域金融の中心的な担い手として、金融の円滑化に貢献することをめざしております。
- 「地域密着型金融の推進」の考え方は、上記の企業理念や平成25年4月から実施している中期経営計画（「2013年 中期経営計画 V-プランー価値提案銀行への進化ー」計画期間2013年4月～2016年3月）の考え方と同じ方向にあると考えており、中期経営計画を着実に遂行することで、「地域密着型金融の推進」に取り組んでまいります。
- さらにこの中期経営計画の諸施策は、平成26年末に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における地域経済活性化の取組みに合致するものであり、地域資源を活用した事業化、生産性の向上、再出発に向けた環境整備など様々なライフステージにある企業の課題解決を通じて「地方創生」へ積極的に貢献してまいります。

2. 地域密着型金融の推進に関する取組み状況について

- 当行では、顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮や地域の面的再生への積極的な参画を通じて、地域密着型金融の推進に取り組んでいくとともに、地域や利用者の皆さまに対する積極的な情報発信に努めてまいります。

3. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) ライフステージ別の主なコンサルティング機能



(2) 創業・新事業支援への取組み

ぐんぎんビジネスサポート大賞の実施

- 平成25年度より、地域経済の活性化・地域貢献を図るため「ぐんぎんビジネスサポート大賞」を実施しております。過去2年間の実施状況は次の通りです。

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 計 |
|------------------|--|------------------------------------|------|
| 応募件数 | 382件 | 217件 | 599件 |
| 群馬県内 | 291件 | 157件 | 448件 |
| 群馬県外 | 91件 | 60件 | 151件 |
| 表彰件数 | 13件 | 13件 | 26件 |
| 応募された事業プランの上位3分野 | ①ものづくり 206件 ②サービス 65件 ③医療・介護 23件 | ①ものづくり 62件 ②流通 41件 ③サービス 33件 | |



- 「ぐんぎんビジネスサポート大賞」は、平成27年度も引続き実施します。平成27年度は、「地方創生」に貢献するため「元気創生賞」を新設しました。「元気創生賞」は、「創業・起業」「商店街活性化」「学生・学校からの応募」など地域を元気にする事業プランを表彰するものです。また、事業化支援策のさらなる充実を図るため、平成27年5月22日に「ぐんぎんビジネスサポートファンド」を設立しました。

ぐんぎんドクターサポートローンの取扱い

- 新規開業や分院開業に活用できる融資商品「ドクターサポートローン」により、成長分野である医療業の皆様を支援しております。
実行実績 60件/1,310百万円（平成27年4～9月）

日本政策金融公庫との連携開始

- 平成27年8月3日より、株式会社日本政策金融公庫と創業支援に関して連携を開始しました。
創業支援は「地方創生」で、重要な位置づけとされ、地域金融機関として積極的な支援を行ってまいります。

(3) 成長段階における支援への取組み

個々の取引先企業のニーズに対応した迅速かつ有効な情報の提供や、様々な業種に対応したセミナー等を開催しました。

- 「BCPセミナー」 参加者 57名
- 「EC事業（インターネット通販）セミナー」 参加者 31名
- 「エコアクション21」セミナー 参加者 43名
- 「新入社員講習会」（7回開催） 参加者 479名



群馬県よろず支援拠点 経営相談会（高崎会場） H27.1.23

中小企業活性化支援サービス

- 平成26年4月より開始した「中小企業活性化支援サービス」は、独立行政法人中小企業基盤整備機構・公益財団法人群馬県産業支援機構と連携して、お客さまの本業支援をお手伝いする外部専門家を紹介するサービスです。
平成27年4～9月で23件の紹介をしました。
- 平成27年6月より、群馬県内3会場（前橋市・高崎市・太田市）で「群馬県よろず支援拠点 経営相談会」を開催し、お客さまの身近な場所で、セミナーと個別相談会を行いました。
合計約100名のお客さまの参加がありました。

補助金デスク

- 経営革新等支援機関として、取引先へ中小企業支援施策の紹介、帯同訪問等による申請支援を実施しました。
・「平成26年補正ものづくり補助金」採択112件
＜うち群馬県89件（県内シェア27%）＞

医工連携への取組みを積極的に進め、地域経済活性化に貢献しております。

- 医工連携の取組み
 - ・医療機器産業を県内企業の柱に育て地域活性化に結びつけるため、医療機関のニーズとものづくり企業の技術とのマッチングなど、お取引先が医療機器産業分野へ参入する支援に取組んでおります。
- 医工連携ファンドの設立・活用
 - ・平成26年11月、医療産業の振興に資するものづくり企業を中心とした中小企業等の支援を図るため設立した「ぐんま医工連携活性化ファンド」に平成27年4月、4地域金融機関が加入し、地域連携を強化いたしました。今後も出資を通じた取引先支援に取組んでまいります。

<出資実績>

| | |
|------|---------------------|
| 企業名 | 株式会社クリュートメディカルシステムズ |
| 所在地 | 東京都新宿区 |
| 事業内容 | 医療機器の開発、製造販売 |
| 出資内容 | 約2億円(平成27年6月12日実行) |



出資先への訪問（H27.7.14）

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み状況

- 平成26年1月より、「経営者保証に関するガイドライン」（平成25年12月5日「経営者保証に関するガイドライン研究会」により公表。）の趣旨を十分に踏まえ、経営者と保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しのお申入れがあった場合、および保証債務の整理を申立てられた場合などには、本ガイドラインにもとづき、誠実かつ柔軟に対応するよう努めております。
さらに、当該対応が当行の融資慣行として浸透・定着するよう努めております。
平成27年度上期における取組み状況は次のとおりです。

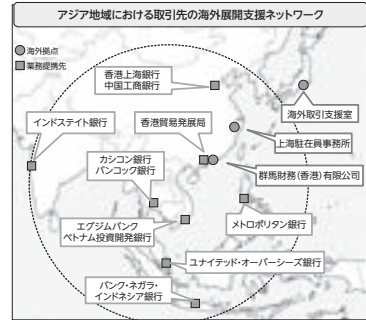
| | 平成27年度上期 | 累 計 <small>(注2)</small> |
|-----------------------------------|----------|-------------------------|
| ガイドラインを活用した件数 | 314件 | 1,063件 |
| 新規に無保証で融資した件数 <small>(注1)</small> | 234件 | 667件 |
| 既存の保証契約を解除し無保証融資に切り替えた件数 | 80件 | 396件 |

(注1) 以前から無保証で融資している先への新規融資は、件数に含みません。
(注2) 累計は、平成26年1月当行取扱開始時からの累計です。

国内本支店、海外拠点、海外派遣者（タイ・インドネシア）、業務提携先が連携して、お取引先のニーズにあった現地情報ならびに現地における金融サービスを幅広く提供しました。

海外拠点ならびに業務提携先を活用した海外展開支援ネットワーク

- 海外拠点
 - <現地情報ならびに現地における金融サービスを提供>
 - 【米国】 ニューヨーク支店
 - 【香港】 群馬財務(香港)有限公司
 - <現地情報を提供>
 - 【中国】 上海駐在員事務所
- 業務提携先
 - 業務提携先のうち、タイのカシコン銀行、インドネシアのバンク・ネガラ・インドネシア銀行に当行行員をそれぞれ1名派遣し、現地でサポートできる態勢を構築
 - <現地情報ならびに現地における金融サービスの提供が可能>
 - 【中国】 香港上海銀行、中国工商銀行
 - 【タイ】 カシコン銀行、バンコック銀行
 - 【インドネシア】 バンク・ネガラ・インドネシア銀行
 - 【フィリピン】 メトロポリタン銀行
 - 【ベトナム】 エグジムバンク、ベトナム投資開発銀行
 - 【シンガポール】 ユナイテッド・オーバーシーズ銀行
 - 【インド】 インドステイト銀行
 - <現地情報の提供が可能>
 - 【香港】 香港貿易発展局



海外商談会・海外展開支援セミナーの開催

- 国内外において、お取引先の海外展開ニーズを幅広くサポートしました。海外では、お取引先の海外販路拡大を目的とした「企業交流会in上海」を開催しました。参加者同士による活発な情報交換が図られ、今後の実際の取引開始を視野に入れた商談も行われるなど、実り多い商談会となりました。国内では、当行の海外拠点長・派遣行員による「現場報告会・個別相談会」を開催し、お取引先へ現地の最新事情を提供しました。当行主催のセミナーで過去最高となる156名の参加者があり、海外拠点長・派遣行員の体験を通じた「生きた」情報をお伝えして大変好評を博しました。

企業交流会 in 上海（商談会）

- 日 時 平成27年9月8日（火）
17:30～20:30
- 会 場 「海味」日本料理店
- 参加者 30社47名
- 面談件数 146件

海外派遣行員による現場報告会・個別相談会

- 日 時 平成27年4月17日（金）
13:30～16:30
- 会 場 群馬県公社総合ビル
- 参加者 156名
- 個別相談会参加 12社

(4) 金融円滑化と経営改善支援への取組み

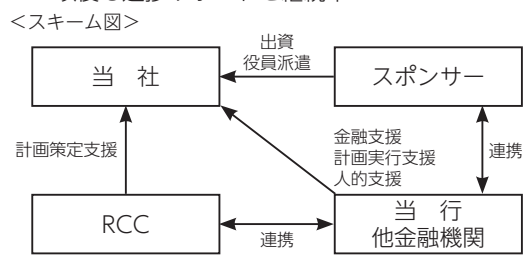
取引先企業に対する金融の円滑化・経営改善支援は、地域経済の活性化に貢献するものとして、本部・営業店が一体となり積極的に取り組んでおります。

- 経営改善計画の策定支援
 - 審査部審査業務室が中心となって、取引先企業に対して経営改善計画策定などに関する支援や助言を行うなど、コンサルティング機能の一層の発揮に努めております。
 - 条件変更を実施した主要な先 403先
 - うち計画策定終了先 320先
(策定率79.4%)
※平成27年9月末現在

- 外部機関・外部専門家との連携
 - 支援にあたっては、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構、経営革新等認定支援機関など外部機関・外部専門家との連携を図り、支援の実効性を高めております。

- 各種支援手法の活用
 - 取引先企業の経営状況に応じ、ぐんま中小企業再生ファンド、DDS（資本性借入金）、ABL（債権・動産担保融資）などの手法を活用した抜本的な再生支援に取り組んでおります。

- 事例紹介
 - ①当社は多くの雇用を抱える地元自動車関連メーカー。円高や海外新興メーカーとの競争激化等で業績悪化
 - ②整理回収機構（RCC）の企業再生スキームを活用した再建計画を策定。スポンサー出資も含めた財務改善支援の実施と構造改革を実行
 - ③当行から人材派遣も行い、計画の進捗をサポート
 - ④計画開始から3期が経過し、概ね計画通りに業績・財務とも改善→正常先へランクアップ。以後も進捗サポートを継続中



(5) 事業承継への取組み

お取引先の事業承継・M&Aニーズの把握に努め、本部スタッフ・外部専門家と連携しながら、適切な提案・アドバイスをご提供してまいります。

○セミナーの開催

最近の中堅・中小企業におけるM&Aの動向や手法等について、わかりやすく解説しました。

- ・「中堅・中小企業のためのM&Aセミナー」

平成27年7月15日 46社55名参加

○個別訪問によるニーズ発掘と課題解決支援

「経営の承継」「財産の承継」の2つの視点から、事業承継のポイントについて、専門家と連携しながら適切な提案・アドバイスをしております。

- ・本部スタッフによる相談訪問件数 96件

○外部専門家等との連携

<主な提携先>

- ・群馬県事業引継ぎ支援センター（平成27年7月より連携開始）
- ・税理士法人トーマツ
- ・株式会社日本M&Aセンター

※同社との協働実績が顕著であった地方銀行を表彰する「バンカーオブザイヤー」と「情報開発大賞」を受賞

4. 地域の面的再生への積極的な参画

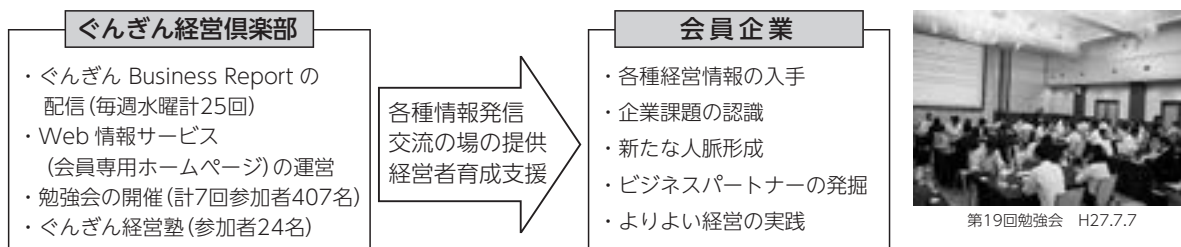
(1) 地方創生への取組みの強化

「地方創生」とは、地方が地元地域の实情にあった戦略を策定・推進することで、人口減少などの直面する課題を克服して「地方の持続的発展」を実現することです。

そのためには、行政、産業界、大学・研究機関、労働団体、金融機関等の密接な連携が不可欠であり、地域経済の活性化を図るために企業サポートの充実や新規事業（産業）の育成支援などの各種施策を展開し、地方創生の推進に向けた地域の産・官・学・労・金の連携へ積極的に参画してまいります。

(2) 地域と一体になった地域活性化への取組み

法人向け会員組織「ぐんぎん経営倶楽部」を通じ、定期的に経営に有益な情報を発信しています。また、各種のイベントを開催し、新たな人脈形成の場を提供しております。こうした企業経営のサポートを通じ、地域経済活性化に取り組んでおります。



○平成24年10月発足。会員数6,161社 (H27.9末現在)

地域企業・地域経済の発展支援

寄付を通じた地域貢献活動

○平成26年6月より、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保護活動を支援する投資信託「富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド 愛称：群馬の絹遺産」の取扱いを開始し、収受した運用管理費用（信託報酬）の一部を、平成27年8月に群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金へ第1回の寄付（1,317,235円）を行いました。

○尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的とした投資信託「自然環境保護ファンド 愛称：尾瀬紀行」の運用を通じて収受した運用管理費用（信託報酬）の一部を、公益財団法人尾瀬保護財団へ第9回の寄付（1,329,448円）を行いました。（第1回～第9回の寄付金累計額10,549,552円）

(3) 地域活性化につながるビジネスマッチング情報の提供

アグリフードフェスタ2015in宇都宮（3行連携事業）の開催

北関東自動車道全面開通により、群馬県、栃木県、茨城県の地域経済が活性化していくなか、地域企業の販路拡大や観光PRを目的とし、常陽銀行と足利銀行とともに3行連携事業を開始しております。平成27年3月に3行の本支店に「地域の魅力PRコーナー」を設け、3県の観光パンフレットを置く専用スタンドを設置しました。

平成27年6月には、食品事業者さまを対象に商品を展示し、食品バイヤーとの自由商談・予約商談を行う「アグリフードフェスタ2015in宇都宮」を開催しました。

当行では引き続き「食」や「観光」を中心に連携を強化し、地域振興や地域経済の活性化に繋げてまいります。

| | | |
|----------|----------------|-------------|
| ○日 時 | 平成27年6月4日(木) | 10:00~16:00 |
| ○会 場 | マロニエプラザ(宇都宮市) | |
| ○主 催 | 群馬銀行・常陽銀行・足利銀行 | |
| ○出展者 | 320社 | |
| ○来場者 | 約3,200人 | |
| ○予約個別商談数 | 470件 | |

(4) 行員の人材育成への取組み

取引先企業のライフステージに応じたコンサルティング機能を発揮できる行員を育成するために、業務別研修や、週末講座等を実施しております。また、専門知識の習得のために各種資格取得を奨励し、積極的に行員を行外研修へ派遣しました。

5. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

●地域の皆さまに役立つ金融サービスの提供

マイナンバー制度対応セミナー

- 「マイナンバー制度」については企業の対応が進んでいない実態を踏まえ、お客さまへの情報提供、対応支援の一環として、「マイナンバー制度」に関するセミナーを開催しました。
- 平成27年7月の開催においては、定員を超える申込みがあったため、9月に追加で開催し、累計で265社382名の参加がありました。

・「空家対策応援住宅ローン」「空き家解体ローン」の取扱い開始

- 昨今、倒壊、火災、犯罪等、住環境に悪影響を及ぼす可能性があるとして社会問題となっている「空き家問題」に対し、当行では、平成27年7月6日より、「空家対策応援住宅ローン」および「空き家解体ローン」の取扱いを開始しました。

「空家対策応援住宅ローン」は、前橋市が実施する「空家対策事業」の補助金申請者を対象とし、補助金を自己資金とみなした特例審査を実施します。

「空き家解体ローン」は、地域を限定せず、空き家解体費用を担保不要でご融資いたします。また両商品とも、一定の条件により、お借入れ後の一部繰り上げ返済手数料を無料としております。

「リバースモーゲージセミナー」の開催

- 高齢者向けローン商品「リバースモーゲージ」のセミナーを開催し、商品内容を参加者へ説明いたしました。セミナー後には個別相談会も実施し、お客さまのご要望に応じた、適切な相談対応を行いました。

・リバースモーゲージセミナー

東京・栃木地区：平成27年6月 参加人数 48名